



令和2年度土佐町教育行政方針

『全ての世代が町まるごとを学びの場とし生涯学び続けられるまちづくり』

- 住民の声に基づいた学校経営、住民が参画した学校運営
- 持続可能なまちづくりに向けて、地域課題解決を「学び」に変える
- 全ての自己実現を応援できる多様な学びの機会と選択肢の確保及び保証
- 保小中高と地域の教育環境の連携を軸に、児童の多様な発達を支援できる土佐町ならではの教育の実現
- 全ての学びの基盤である図書館の経営強化を軸にした言語活動の充実

(仮称)土佐町教育支援センター 理念(案)

一人ひとりの自立、そして自己実現

子どもの成長に寄り添い、好きをみつける姿を見守る場

町まるごとで学びの機会と場を作る

保健・福祉・教育の連携で、学びの機会と場を作る

心と生きる

心と共に生きる

心生(こころおい or こころいき)

子供の思いに関わり、歩みに寄り添う

『すべての子どもに 切れ目のない支援で 社会で適応し、自立して生きることが出来る力を育てる教育支援の拠点』～土佐町の子どもは、土佐町で育てる～

ことごと やりゆうよ

(個々のペースで、焦らずのんびりやりましょう。

おおらかに見守っていきましょう。という意味で)

やわらかい人と人とのかかわり ～ゆりかごの里～

寄り添い・つながり・広げ共に生きる。

こんにちは! わたしの居場所 わたしの未来